備考

1　用語の定義

備考における用語の定義は下記による。

⑴　オフ時とは、複合機のスイッチが切れた状態（⑵の状態を除く。）をいう。

⑵　自動オフ時とは、電源に複合機のプラグが接続された状態において当該複合機が一定時間用いられなかったこと、あらかじめ設定したタイマー機能の働き等により、スイッチが切れた状態をいう。

⑶　スリープ時とは、複合機のスイッチが入った状態であって、当該複合機が一定時間用いられなかったこと等により移行する少電力消費状態（消費電力量が通常に比べ少ない状態をいい、設計上あらかじめ想定されている物理的操作等の潜在的入力信号に反応して稼働モードに移行することができる場合であって、かつ、ネットワーク接続を維持している場合に限る。）をいう。なお、スリープ時における消費電力量が一に決まらない複合機にあっては、最終スリープ時（スリープ時であって最も消費電力量が少ない状態をいう。以下同じ。）の消費電力量を備考における算定に用いることとする。

⑷　低電力モードとは、自動オフ時及びスリープ時をいう。

⑸　稼働準備時とは、複合機が出力を行っていないが、いかなる低電力モードにも入っていない状態をいう。

⑹　複写時とは、複写を行っている状態をいう。

⑺　印刷時とは、印刷を行っている状態をいう。

2　印刷機能がないものについての$W_{TEC(\alpha)}$の算定方法

$W_{TEC(\alpha)}$は、複合機（印刷機能がないものに限る。以下備考の２において同じ。）の１週間当たりの消費電力量（単位　ワット時毎週）を表し、複合機が１週間に週５日稼働すると仮定し、下記の算式により、稼働する５日間の消費電力量と稼働しない２日間の消費電力量を合計することによって算出する。

$W_{TEC(\alpha)}=(W_{D(\alpha)}\times 5)+(W_{AO}\times 48)$

$W_{D(\alpha)}$　：１日当たりの消費電力量（単位　ワット時毎日）

W_{AO}　：１時間当たりの自動オフ時の消費電力量（単位　ワット時毎時）

⑴　$W_{D(\alpha)}$とは、複合機の１日当たりの消費電力量（単位　ワット時毎日）を表し、下記の算式により算出する。なお、自動オフ時への切り替えは、１日のうち昼休みが始まる際(午前)と労働時間が終了した際（午後）の２回行われるものとする。

$W_{D(\alpha)}=W_{J(\alpha)}+(W_{T(\alpha)}\times 2)+W_{DAO}$

$W_{J(\alpha)}$　：複写に必要な１日当たりの消費電力量（単位　ワット時毎日）

$W_{T(\alpha)}$　：自動オフ時への切り替え時の消費電力量（単位　ワット時）

W_{DAO}　：自動オフ時の１日当たりの消費電力量（単位　ワット時毎日）

①　$W_{J(\alpha)}$とは、別表３において機器の複写速度に応じて定められた１日当たりの複写回数の複写を実行するために必要な消費電力量を表し、下記の算式により算出する。

$W_{J(\alpha)}=(W_{J1(\alpha)}\times 2)+(W_{AJ(\alpha)}\times(J_{(\alpha)}-2))$

$W_{J1(\alpha)}$　：別表１の５）の試験（以下「複写試験１」という。）において計測される消費電力量（単位　ワット時）

$W_{AJ(\alpha)}$　：別表１の６）の試験（以下「複写試験２」という。）、別表１の７）の試験（以下「複写試験３」という。）及び別表１の８）の試験（以下「複写試験４」という。）において計測される消費電力量の平均（単位　ワット時）

$J_{(\alpha)}$：１日当たりの複写回数（単位　回）

※$J_{(\alpha)}$とは、１日当たりの複写回数（単位　回）を表し、別表３において複写速度に応じて定められたものをいう。

②　$W_{T(\alpha)}$とは、別表１の９）の試験において計測される消費電力量をいう。

③　W_{DAO}とは、１日当たりの自動オフ時の消費電力量（単位　ワット時毎日）を表し、下記の算式により算出する。

$W_{DAO}=(24-((J_{(\alpha)}/4)+(T_{(\alpha)}\times 2)))\times W_{AO}$

$J_{(\alpha)}$　：１日当たりの複写回数（単位　回）

$T_{(\alpha)}$　：自動オフへの切り替え時間（単位　時間）

W_{AO}：自動オフ時の消費電力量（単位　ワット時毎時）

※$T_{(\alpha)}$とは、自動オフへの切り替え時間（単位　時間）を表し、別表１の９）の試験において計測される時間をいう。

⑵　W_{AO}とは、別表１の10）の試験において計測される消費電力量をいう。

3　印刷機能があるものについての$W_{TEC(\beta)}$の算定方法

$W_{TEC(\beta)}$は、複合機（印刷機能があるものに限る。以下備考の３において同じ。）の１週間当たりの消費電力量（単位　ワット時毎週）を表し、複合機が１週間に週５日稼働すると仮定し、下記の算式により、稼働する５日間の消費電力量と稼働しない２日間の消費電力量を合計することによって算出する。

$W_{TEC(\beta)}=(W_{D(\beta)}\times 5)+(W_S\times 48)$

$W_{D(\beta)}$　：１日当たりの消費電力量（単位　ワット時毎日）

W_S　：１時間当たりのスリープ時の消費電力量（単位　ワット時毎時）

⑴　$W_{D(\beta)}$とは、複合機の１日当たりの消費電力量（単位　ワット時毎日）を表し、下記の算式により、算出する。スリープ時への切り替えは、１日のうち昼休みが始まる際（午前）と労働時間が終了した際（午後）の２回行われるものとする。

$W_{D(\beta)}=W_{J(\beta)}+(W_{T(\beta)}\times 2)+W_{DS}$

$W_{J(\beta)}$　：複写に必要な１日当たりの消費電力量（単位　ワット時毎日）

$W_{T(\beta)}$　：スリープ時への切り替え時の消費電力量（単位　ワット時）

W_{DS}　：スリープ時の１日当たりの消費電力量（単位　ワット時毎日）

①　$W_{J(\beta)}$とは、別表３において機器の印刷速度に応じて定められた１日当たりの印刷回数の印刷を行うために必要な消費電力量を表し、下記の算式により算出する。

$W_{J(\beta)}=(W_{J1(\beta)}\times 2)+(W_{AJ(\beta)}\times(J_{(\beta)}-2))$

$W_{J1(\beta)}$　：別表２の５）の試験（以下「印刷試験１」という。）において計測される消費電力量（単位　ワット時）

$W_{AJ(\beta)}$　：別表２の６）の試験（以下「印刷試験２」という。）、別表２の７）の試験(以下「印刷試験３」という。)及び別表２の８）の試験（以下「印刷試験４」という。）において計測される消費電力量の平均（単位　ワット時）

$J_{(\beta)}$　：１日当たりの印刷回数（単位　回）

※$J_{(\beta)}$とは、１日当たりの印刷回数（単位　回数）を表し、別表３において印刷速度に応じて定められたものをいう。

②　$W_{T(\beta)}$とは、別表２の９）の試験で計測される消費電力量をいう。

③　W_{DS}とは、１日当たりのスリープ時の消費電力量（単位　ワット時毎日）を表し、下記の算式により算出する。

$W_{DS}=(24-((J_{(\beta)}/4)+(T_{(\beta)}\times 2)))\times W_S$

$J_{(\beta)}$　：１日当たりの複写回数（単位　回）

$T_{(\beta)}$　：スリープへの切り替え時間（単位　時間）

W_S　：スリープ時の消費電力量（単位　ワット時毎時）

※$T_{(\beta)}$とは、スリープへの切り替え時間（単位　時間）を表し、別表２の９）の試験において測定される時間をいう。

⑵　W_Sは、別表２の４）の試験において計測される消費電力量をいう。